



同志社大学 (京都府)



知の国際化拠点・同志社大学 一千年の都、京都で「志」を育む一

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

同志社大学のある京都は日本列島のほぼ中心に位置しています。794年、京都は日本の首都に定められ、東京が首都になるまで、約1100年間、日本の政治の中心であり、歴史・文化の中心でした。古い史跡や町並み、文化などが数多く存在することから、日本で有数の国際観光文化都市として知られ国内外から多くの旅行者が訪れます。京都は伝統的な都市という魅力だけでなく、先端技術を持つ企業をはじめ、業界トップクラスの企業が集まるなど現在の日本の産業を支えている地域の一つでもあります。



[今出川キャンパス]



[京田辺キャンパス]

<新島襄の教育理念>

同志社大学の建学の精神は「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」の三つの柱からなっています。1875年、同志社は日本で最初のキリスト教主義の学校として、新島襄によって創設されました。新島は世界のあらゆる青年が真理を求めて自由に生き生きと学び、語り合い、友情の絆を作り上げる場として同志社を位置づけました。その精神は今日においても本学に脈々と受け継がれ、現在の国際交流ネットワークを築いています。

② 国際交流の実績

同志社大学は、人文科学系、社会科学系、理工系、スポーツ・健康科学系まで幅広い分野の14学部16研究科及び、日本語・日本文化教育センター等を有する総合大学となり、学生数約30000名のうち約1500名を世界各国からの留学生が占め、海外との交流もますます広がりを見せています。

<大学間協定数>

46ヶ国 197大学 (2019年10月現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2019年度：留学生数 1503人・日研生 17人

2018年度：留学生数 1499人・日研生 12人

2017年度：留学生数 1429人・日研生 12人

日本語・日本文化教育センター(以下:日文センター)は、「外国人留学生」の受入れから、日本語及び日本事情や日本文化に関する充実した科目の設置・提供による教育支援や生活支援、短期プログラムの実施等、本学の「海外からの受入れ」に関わるあらゆる業務を担っています。

④ 地域の特徴

今出川キャンパスは、京都御所の目の前という京都の中心に位置しています。

日本事情科目・国際事情科目では、生け花や茶の湯、書道、座禅、金箔工芸実習、祭りや寺社・博物館などへの学外見学など、体験型の授業が、多数提供されています。



1200年の歴史と伝統を誇る古都・京都の地の利を生かし、日本の伝統文化を本質的に理解することができる魅力的な科目を多数提供します。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(b)日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

② 研修・コースの特色

※充実した日本語科目群で、日本語力の向上と、目的に応じた演習や文化理解まで、幅広い学びを実践

※一人ひとりの実力に応じて学べる9段階別クラス編成
※日研生対象「特別クラス」での学外授業や文化体験

(1) 日研生は原則として日本語学習を主目的とする学生を対象とした《集中コース》で「日本語」を学びます。入学者の日本語能力にはかなりの差があり、同じクラスで授業を行うと、学習に無理が生じるため一人ひとりの能力により9段階に分け、きめ細やかで丁寧な指導が可能となるよう配慮しています。さらに日本語能力試験とビジネスに関する日本語に主眼をおいた「演習科目」も提供します。

(2) 日本語を中心とした多言語による日本の文化や社会に関する「日本事情科目」は、日本の言語・芸術・思想・宗教・法・政治・歴史・社会・生活と文化ならびに、異文化コミュニケーションなどに関する科目を設置しています。さらに、国際的な観点による「国際事情科目」を提供します。

(3) 歴史と文化の中心である「京都」を生かした、日研生対象の「特別クラス」では、企業見学、能楽堂・祇園祭の見学、地域の学校や京町家訪問、生け花や茶の湯体験など、様々な日本の伝統文化や社会を学ぶ機会も提供します。

③ 受入定員

30名(大使館推薦 29名 大学推薦 1名)

④ 受講希望者の資格・条件等・・・無し

⑥ 研修期間（在籍期間）

2020年9月～2021年8月（修了式は8月上旬予定）

⑦ 奨学金支給期間

2020年10月～2021年8月

⑧ 年間行事・年間スケジュール

【秋学期】（9月～3月）

9月上旬 渡日
 9月中旬 リエーション・日本語プレースメント
 9月下旬 講義開始
 11月26～28日 学園祭
 12月下旬～1月上旬 冬期休暇
 1月下旬～ 期末試験
 2月中旬～ 春期休暇

【春学期】（4月～8月）

3月下旬 日本語プレースメント
 4月上旬 講義開始
 7月下旬 期末試験
 8月 修了式・帰国



【同志社大学今出川キャンパス】

⑨ コースの修了要件

日研究生は、9月から所定の研修期間在学し、合計20単位以上の単位を修得した場合、「修了証書」が授与されます。



【各自テーマを決めて研究し、
【研究ポスター発表会】
で成果発表する様子】

⑩ 研修・コース科目の概要・特色（⑤ 達成目標）

I. 必修科目

(1) 日本語科目

II. 選択科目

- (2) 日本語演習科目
- (3) 日本事情科目 *
- (4) 国際事情科目 *
- (5) 学部・研究科科目 *

* 体験、見学など参加型科目や日本人との共修の機会を含む

I. (1) 日本語科目 10～22単位（300～660時間）

1科目 30時間（1単位）×5～11科目 × 2セメスター
 各学習段階とも「読む」・「聞く」・「話す」・「書く」の4技能を総合的に修得する科目と、『読解』・『語彙』・『文章表現』・『口頭表現』の技能別科目から構成されています。

＜文型・基礎語彙・基礎漢字の習得目標＞

レベル（学習段階）は入学した学期始めに行うプレースメントテスト（筆記・面接）によって決定します。

レベル	学習段階	文型の定着	基礎語彙	基礎漢字
I	初級前期	初級の基本的な文法	1500 語	300 字
II	初級後期	初級前半の定着 初級後半～中級の文法	2000 語	500 字
III	初中級	初級の文法事項の定着 中級の重要文型 約50	3000 語	600-750 字
IV	中級前期	中級の重要文型 約100	4000 語	800 字
V	中級後期	中級の重要文型 約200	6000 語	1000-1200 字
VI	中上級	中級の重要文型 約200 上級の重要文型 約50	8000 語	1500 字
VII	上級前期	中級の重要文型 約200 上級の重要文型 約100	10000 語	2000 字
VIII	上級後期	上級の重要文型 約100 高度な日本語の習得と 運用力を養成する	10000 語	2000 字
IX	超上級	より高度な日本語の習得と運用力の養成を目指す。		

II. (2) 日本語演習科目

1科目 30時間（1単位）×選択数

主として日本語能力別に日本語能力試験や日本留学試験等に備えた演習を行います。

科目名	学習段階／目的	日本語レベル
日本語総合演習A	日本語初級	I-II
日本語総合演習B	日本語能力試験 N3	III-V
日本語総合演習C	日本語能力試験 N2	IV-VI
日本語総合演習D	日本語能力試験 N1	V以上
中級日本語文法概説A/B	中級レベル日本語文法	IV-VI
上級日本語文法概説A/B	上級レベル日本語文法	VI以上
日本語特講演習	論文	V以上
ビジネス日本語A/B/C/D	ビジネスに関する日本語	I-IX

II. (3) 日本事情科目

1科目 30時間（2単位）×選択数

芸術・哲学・宗教・法律・政治・経済・歴史など幅広く日本の生活や社会について学ぶことができます。茶道や華道の実習や能楽など古典芸能の見学を通して日本の伝統や文化を学ぶことは、日本を理解する上で大きく役立つ体験となります。

科目名	科目名
日本の文学A/B	日本の思想・宗教 1/2/A
日本の法と政治	日本の企業と経営A/B
日本の歴史1/2	日本の文化 1/2
日本の社会1/2	日本の教育
日本の芸術 1/2	日本の伝統と人間形成
比較文化論A/B	日本とアジア 1/2
日本の現代芸術 -マンガ・アニメの歴史と特質-	
異文化間コミュニケーションA/B	
日本の文化特講A/B/C	
日本の伝統と美 -いけばなの語るもの-	
日本の伝統と文化 -日本人の見た花の美しさ-	
日本の伝統と文化 -着物が伝える日本の心と京都の暮らし-	
日本の伝統と芸能 -雅楽-	
日本の伝統と芸能 -仮名手本忠臣蔵を読む-	
日本の伝統と能楽 -能楽を通してみる日本の伝統文化-	
日本の伝統と芸術 -日本美の位相-	

II. (4) 国際事情科目

1科目 30時間 (2単位) × 選択数

宗教・歴史・ビジネス・メディアなど多様な分野を国際的な観点からとらえた専門性の高い内容の科目です。

科目名	科目名
世界の歴史 1/2	国際比較文化論
国際比較メディア論	国際ビジネスA/B/C

II. (5) 学部・研究科科目

十分な日本語能力があると判断された場合には、学部や研究科の開講科目を履修することができます。



[日本の伝統や文化を体験・見学する授業の様子]



⑪ 指導体制

日本語指導にあたるのは、海外や他の教育機関において豊富な日本語教育の経験を持つ、日本語教育学・日本語学・言語学専門のエキスパートです。

<指導教員>

- ・専任教員 8名
- ・嘱託講師 約55名

■日本人学生との交流

日研究生は、学内の施設を利用することができます。「国際交流ラウンジ」や食堂では日本人学生と活発に交流がされています。日本語の勉強、スキルアップ、日本人の友達作りにもお勧めです。



自主的な学習施設「ラーニング・コモンズ」では、日本人学生と気軽にコミュニケーションができる環境を提供します。

<http://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp/>

サークル活動も盛んで、参加可能なクラブやサークルがたくさんあり、<http://d-live.info/> さまざまな交流イベントも開催しています。

<http://www.doshisha.ac.jp/international/communication/event.html>

1. International Day

日本人学生と外国人学生との交流会です。

2. SIED企画イベント

http://ois.doshisha.ac.jp/international_exchange/sied.html

SIED:(シード=Student Staff for Intercultural Event at Doshisha)とは、学生が主体となり、国際交流イベントを企画・実施する組織で、日本人学生と外国人学生の国際交流イベントを、多数企画・開催しています。



■宿 舎



同志社大学には留学生のためにいくつかの宿舎があり、日研究生はコース期間中、同志社大学の留学生用宿舎に入居できます。留学生用宿舎は、同じ留学生と一緒に暮らしているので、日本での生活の情報交換や、助け合いができて安心感もあります。また、一般的に日本で住宅を借りる場合に必要、保証人・仲介手数料・敷金・礼金などが不要なので、初期費用は入寮費のみです。

■修了生へのフォローアップ

本学での日本語や日本文化に関する学びをいかして、大学院に進学、日本語の教員になるほか、また日系の企業に就職するなど、現在も日本と関わり続けている修了生が多いです。

本学の現地の同窓会に参加して通訳を務めるなど、毎年様々な活躍の報告があります。

進学や就職で日本にいる修了生が多いうえ、毎年先輩に薦められて本学を選択した学生が多く在籍するので、継続した繋がりががあります。



■ 問合せ先



同志社大学
日本語・日本文化教育センター
ウェブサイト <http://cjlc.doshisha.ac.jp>

<担当部署> 国際教養教育院事務室

住所：〒602-8580
京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学 弘風館5階
【TEL】+81-75-251-3240
【FAX】+81-75-251-3242
【E-mail】 ji-nbn@mail.doshisha.ac.jp

開室時間：月曜日～金曜日
9：00～11：30/12：30～17：00

同志社大学ウェブサイト
<http://www.doshisha.ac.jp>